



校長室 だより

尼崎市立常陽中学校 No.9

平成27年 9月 1日

校長 小谷 豪郎

# 常陽中の枯山水風の石庭「万象有声」

昭和59年に完成した石庭、これは、校歌に歌われた常陽の自然の美、とりわけ、武庫の山並みと、尼崎周辺の農耕生活に潤いを持たせた豊富な水源の六樋が校区内にあること、そこから表現した物です。三つの石組みで現された六甲山系、そして昔、西昆陽と西宮の上大市を往来していた「髭の渡しの渡し船」そして「渡しの石灯笼」豊富な水の源となる「六樋」そして農耕の発展や人々の営みを現す「石臼」というように、中心に武庫川の流れを表現し、この常陽の自然を匠に表現したものです。

優れた自然と、その自然に働きかけて生きて来た、武庫の人々の努力を更に活かし、未来に向けて伸びていこう、と亡くなられた詩人の「伊丹公子」先生が作詞して下さった「校歌」のイメージを膨らませこの石庭が整備されました。

元通りには難しいですが、少しでも作者の意図、校歌との関わりが分かる程度には修復したいと思ひ、これから、少しずつ手を入れて行きたいと思ひます。皆さんにも観て感じて表現を理解できる力を付けていただきたいと思います。



## いよいよ2学期のスタート

暦の上では、24節季の「立秋」も過ぎ、「処暑」という時期の後半になります。処暑とは、暑さが少し和らぎ、朝の風や夜の虫の声に、秋の気配を感じ始めるころのことを言います。

また、「立春」から数えて二百十日目、台風がよくやってくる日とされています。嵐がやって来る、農家にとっては三大厄日の一つになっています。稲の収穫のころに台風が来ては大変かと、暦は注意を呼びかけています。今年は、夏休みの始めに台風がきて、全校登校日の日にも台風が来ていましたね。

長い夏休みはどうでしたか、1学期の終業式が流れ担任の先生に文章を読んでいただき終わってしまいましたが、内容をしっかりと理解し、充実した夏休みになりましたか？何か感動・感激を味わうような体験はありましたか？戦後70年、日本の平和や戦争について家族で話し合ったり自分で調べてみたりしましたか？



先生は、この夏休みに映画を見に行きました、「日本の一番長い日」という映画です。第二次世界大戦の終わりを判断し天皇陛下が国民に向けて直接放送を通じて、敗戦・終戦を告げる、そのために軍部や政治家など様々な人の関わりや、クーデターを起こしあくまでも「本土決戦」で戦争に勝つ事を信じていた若い兵隊達の動きなどが描かれていました。同じ内容の映画を小学校高学年のころに、父とみた覚えがありました。この年になり様々なことを知って観るとまた違った感動を覚えました。

夏の恒例の総合体育大会もとても感動しました。

市内、阪神と快調に勝ち進んだ男子バスケットボール部、県大会の準決勝で思いもよらなかったつまずきでこの夏を終えました。一番驚いたのは、日頃はおしとやかなお嬢さんのような女子生徒が、普段からは想像も付かない素晴らしい反応と形相でシャトルを追いかける姿に感動しました。あと一歩、もう一歩のところまで近畿大会男女アベック出場はなりません。最後まで勝ち残った男子バドミントン部、先手を取られてからの粘りで逆転の県大会準決勝、この勢いがそのまま決勝戦で爆発、相手の2連覇を阻止して見事県大会優勝。近畿大会でもこの勢いは修まらず、兵庫県同士のリベンジに燃えた相手を一蹴して近畿大会も見事優勝、全国大会で暴れてきてほしかったのですが、初戦敗退、しかし素晴らしい3年間の集大成だったと思います。



常陽、強気の初V

男子団体兵庫勢同士で頂上決戦  
バドミントン男子団体決勝・平岡一常陽  
第2ダブルスでスレート勝ちした常陽の  
大栗賢(左)、香山龍(大和郡山市総合公園)

部活動で頑張ってきた3年生の皆さん、本当に感激・感動をありがとう、優勝も1回戦負けも3年間の集大成として一人一人それぞれにとっては、大切な思い出です。ここからは、部活動にかけてきた、3年間の時間を残り半年間にぎゅっと凝縮し、勉強に置き換え将来の目標に向かって頑張ってください。そして来年の春には、目標を達成し感動・感激とともに素晴らしい卒業式・入学式を迎えられますように祈っています。

## トライやる・ウィーク

中学校2年生の一大イベント、「トライやるウィーク」が14日から始まります。将来どんな職業に進むのか、日頃何気なく観ていた仕事ってどうなんだろう、お父さんやお母さんの仕事ってどうなんだろう、いろいろなことを考えながら1週間充実した活動をしてきて下さい。仕事について、働くということについて、将来の進路についてこの機会に家庭で保護者の方と話をする良い機会にして下さい。

## シルバーウィーク

今年は、何年かに一度の秋の大型連休があります。5月のゴールデンウィークに対してシルバーウィークと言われているようですが、季候の良い食欲の秋・文化の秋・勉強の秋・・・様々な呼ばれ方をする天候にも恵まれ、気候も安定したこの時期です、無駄に過ごさず夏休みにやり残したこと、計画が上手く進まなかった人、夏休み中に感動・感激を味わえなかった人、この機会に何かチャレンジしてみてください。

《今月の言葉》 『 心 素直に、知性 かがやく 』

素直な心になれば、視野が広くなり、物事の道理がわかってくる

「素直な心」は「感謝」の気持ちと「謙虚」な姿勢を生み出し、さらには、「学ぶ心」を育てます。

「学ぶ心」が有れば、「学力」はおのずと向上します。